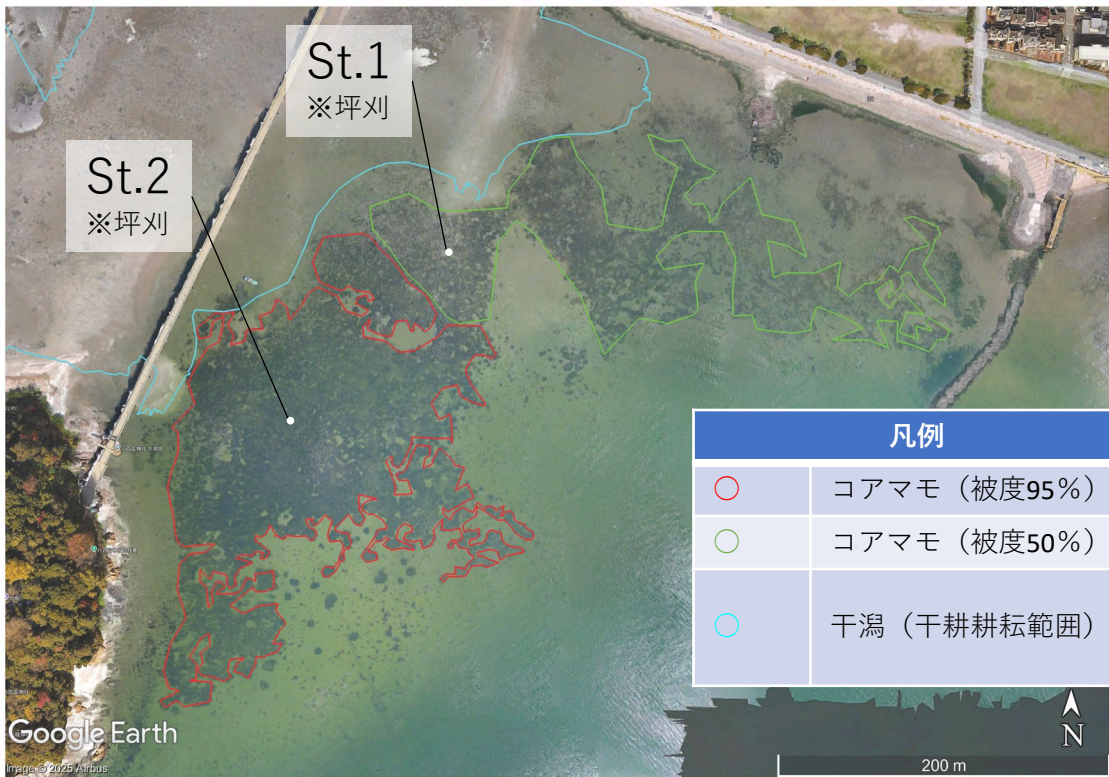


2025年度ブルーカーボン量（竹島コアマモ面積）

ドローンによる空中写真撮影（2025年5月13日）
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け
コアマモ場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定

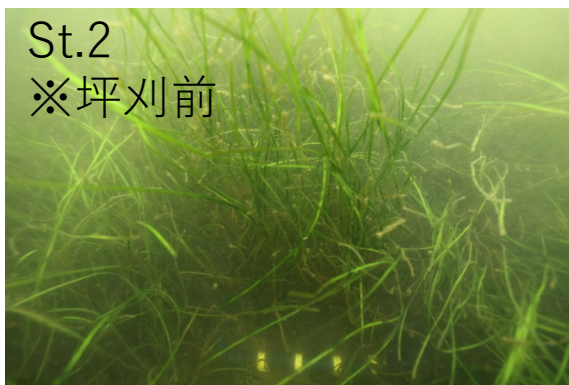
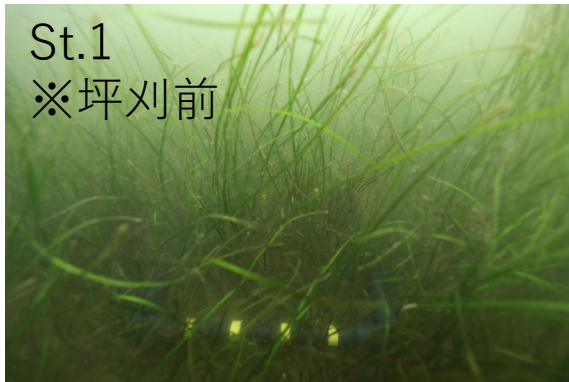


凡例		面積(ha)
○	コアマモ（被度95％）	2.8368
○	コアマモ（被度50％）	1.7309
○	干潟（干耕耕耘範囲）	9.2335 ※項目4 参照

被度の判別は画像から、コアマモ場が濃く密に繁茂すると判読した範囲についてはコドラート調査の結果を基に被度95%とした。
また、コアマモ場がパッチ状に繁茂する為、面積の算定がしにくい場所では、生えていない場所も判読範囲に含むため、被度を50%と定義することで実勢面積を算出した。生えていても画像で判別の難しいものや小さいパッチ上で面積に反映しにくいものは除外しているため本来よりも過小評価している。
被度50%と定義した場所でもコアマモ草体の生育状況（被度や株数、草体長）は被度95%コアマモ草体と大きな違いは見られなかった。
耕耘時に刈り取られた可能性がある点及び項目4の干潟の面積と重複させない点から耕耘が行われた範囲のコアマモは、面積の判読から排除した。

【面積に対する確実性評価について】
対象面積内は水深0.5m-3mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

潜水目視調査による生育コアマモの把握、
コドラート調査によるの被度の把握、
生育コアマモの湿重量計測
（2025年6月2日）



※上記の撮影場所は左図（空中写真）の番号に対応

生育アマモ：コアマモ（面積算定に反映）
被度：コアマモ：95.0%
（面積算定に反映）
1m2当たりの湿重量：平均2.993kg

コアマモ対象面積（実勢面積）		＝面積合計×被度	コアマモ対象面積（実勢面積）		＝面積合計×被度
		＝2.8368×95％			＝1.7309×50％
		＝2.69496 ha			＝0.86545 ha
			合計	2.69496+0.86545＝3.56041 ha	